

## 編 集 後 記

研修医の先生に文献検索について講義する時に、これまでは PubMed や医学中央雑誌の検索方法などを紹介していました。しかし、近年の人工知能（AI）の発展は著しく、令和 4 年度改訂の医学教育モデル・コア・カリキュラムにおいても「発展し続ける情報化社会を理解し、人工知能等の情報・科学技術を活用しながら、医学研究・医療を実践する」として「情報・科学技術を活かす能力」が求められています。したがって、ここ 2 年は AI を用いた文献収集についても講義の中に盛り込むようにしています。

文献検索にかかわらず、AI を活用することで、例えば、ある疾患について集中治療領域以外の医療者が AI に質問した際に、その回答の中に本誌（日本集中治療医学会雑誌）の内容が含まれることもあります。このことは AI がこれまで以上に本誌掲載の論文が多くの医療者、患者さんの助けになる可能性を広げているといえます。

一方で、編集に携わらせていただいている立場としては、内容の正確性の担保など査読、編集の過程で投稿いただいた内容をしっかりと確認、吟味をする必要性がさらに高まったと感じます。幸い本誌では、多くの査読者の先生方が熱心に細部まで査読してくださっています。その査読の内容を編集委員会でさらに確認して、著者とよりよい論文にするために、これからも努力をしていきたいと思っています。

2026 年 1 月

文・矢田部智昭